

GAPセミナー

GAP : Good Agricultural Practice

GAPとは、適切な生産工程管理と記録の作成を通して持続可能な農業の実践と安全性の高い農産物の生産を目指す取り組みです。GAPを導入することにより、「食品安全性の向上」「環境の保全」「労働安全の確保」等の効果が期待されます。

本セミナーでは、これからGAP認証取得を考えている農業者の方を対象に、GAPの概要やGAP認証を取得した農場の事例紹介等を通して、具体的な工程管理の手法を学びます。

第1回『GAP概論』、第2回『総合的病害虫管理』、第3回『HACCP構築手法』の3部構成です。1講義のみの受講も可能ですので、この機会にぜひ受講ください。

- 対 象 農畜産業、企業、団体、行政機関等に所属する社会人
- 受講方法 対面または オンライン（Zoom）＊オンライン受講時のデータ通信料は各自でご負担ください。
- 定 員 30名程度 ＊第3回のみ10名程度

	日程	科目・時間	内容	講師	会場	受講料
1	1/19(月)	GAP概論 17:00～20:00	GAPで取り組む環境配慮、 労働安全、食品安全につ いて解説	一般社団法人日本生産者GAP協会 株式会社AGIC 田上 隆多	帯広畜産大学 講義棟 23番講義室	無料
2	1/23(金)	総合的病害虫管理 Integrated Pest Management 10:30～16:45	総合的病害虫管理手法の 概論 農薬の正しい知識と使い方 IPMの基礎としての植物病 害の仕組みについて解説 総合的病害虫管理の最新 事例紹介	帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター 准教授 相内 大吾 ヨカトコ 宮崎 健太 北海道立総合研究機構 中央農業試験場 病虫部予察診断グループ 主査 野津 あゆみ 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場 研究部生産技術グループ 主査 東岱 孝司	帯広畜産大学 産学連携 センター マルチルーム	5,000円 (税込)
3	1/24(土) 1/25(日)	HACCP構築手法 9:00～17:30	HACCP 7 原則12手順に 基づく、HACCP構築研修	帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター 業務室長 藤倉 雄司	帯広畜産大学 講義棟 4 番講義室	20,000円 (税込)

▶ 有料講習を受講した方に、それぞれ修了証書を発行します！

【お問い合わせ】 フードバレーとかち人材育成事業事務局（担当：和知）

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地（帯広畜産大学 教務課社会人教育係）
E-mail : f-jinzai@obihiro.ac.jp TEL 0155-49-5575

※12/26～1/4は年末年始休業となりますので、予めご了承ください。

＊お申込み方法は裏面を

ご覧ください ▶▶▶

GAPセミナー受講申込書

申込フォームまたは
受講申込書にてお申込み
ください。

<https://forms.gle/AFhJPumRGKrm8NhSA>



フードバレーとかち人材育成事業事務局
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
(帯広畜産大学 教務課 社会人教育係)
E-mail : f-jinzai@obihiro.ac.jp

【お申込みについてお願い】

本フォームにはセミナーにお申込みされる方の氏名・所属機関等をご記載ください。
受講者把握のため、申込された方以外の参加はご遠慮願います。
受講される方を変更する場合には、事前に上記お問合せ先までメールにてご連絡願います。

*** 申込締切 : 1/9(金)**

ふりがな	
お名前	
ご所属 (会社名・役職等)	
連絡先住所	〒
電話番号 (受講時に連絡の付く携帯番号)	
メールアドレス	

受講セミナー記入欄 (希望されるセミナーに○をご記入ください。)		
日程・科目名	会場受講	Web受講 (Zoom)
1/19 (月) GAP概論		
1/23 (金) 総合的病虫害管理		
1/24 (土) HACCP構築手法 1/25 (日)		

【帯広畜産大学 会場案内図】



TEL : 0155-49-5575 (担当 : 和知)

※個人情報の取扱いについて、次の事項に同意いただける場合□にレ点をご記入ください。

☐ 個人情報の取扱いについて同意します。

【個人情報の取扱いについて】

- 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- お申込み時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講に関する連絡等の業務及び本学リカレント教育の案内等を行うためのみ利用します。
- セミナー等をより効果的にするために、講師へ所属機関・氏名を提供することがあります。